

南箕輪村議会議長 様

提出者名 笹沼 美保

議員研修・議員視察結果報告書

<p>研修名または視察テーマ</p>	<p>総務経済常任委員会研修視察</p>
<p>研修・視察実施場所</p>	<p>岐阜県高山市 ひだ荘川温泉「桜香の湯」 高森町信州たかもり温泉 「御大の館」</p>
<p>研修・視察の期間</p>	<p>令和 7 年 9 月 30 日～10 月 1 日</p>
<p>研修・視察の成果等</p>	<p>「桜香の湯」 “自然エネルギー利用日本一”を目指す高山市では、「桜香の湯」に木質バイオマスボイラーを導入。指定管理は荘川観光協会だが、その設備などの管理はすべて井上工務店が行い、製材等の過程で発生する端材を燃料としているため、ランニングコストは少なく抑えられていた。熱代金として 7.8 円/kWh（20 年契約）を支払うのみの低リスク。初期投資は 1～2 億円だが、10 数年で回収となったという。大芝の湯でも木質バイオマスボイラーの導入に向かっているが、全国各地で木質バイオマス導入の失敗例もある中、リスクがあることも念頭に計画を進めていけるよう、議会としても注視したい。</p> <p>「御大の館」 高森町の「御大の館」でも木質バイオマスボイラーを導入し、森林資源活用による再生可能エネルギーと熱供給の循環システムを実現していた。ここではボイラーの故障が多く、対応に苦労している側面も見え、チップの質の管理など難しさもあることがわかった。導入にあたっては、維持管理のしやすさも慎重に検討する必要があるだろう。</p>

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。